

Privacy Safer

「プライバシーセーフアール」

うちは一度も漏洩したことがないから今更Pマークなんて必要ない

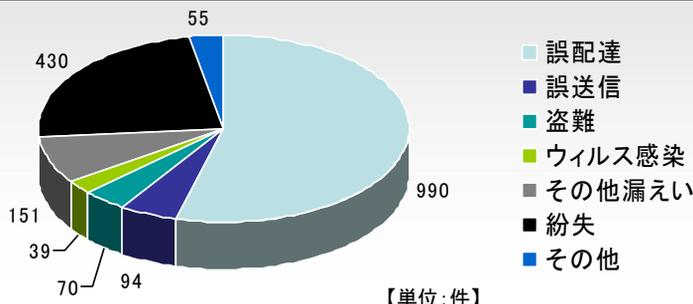
セキュリティのために高額なシステムを導入したから大丈夫

個人情報の管理は従業員のモラルに任せている

うちの社員に限って悪意をもった持出なんてありえない

本当にそれで大丈夫ですか・・・？

個人情報の漏えいはちょっとしたミスが原因



【単位:件】

※1 出展JIPDEC「(平成19年)個人情報の取扱いにおける事故報告にみる傾向と注意点」

- 膨大な量の必要文書を作成するだけのマンパワーがない
- Pマークは分かるけど、実際に何をすればいいかわからない
- Pマーク取得後、環境を維持していく自信がない
- Pマークはもう取得しているけど、文書の更新管理ができない
- Pマークはもう取得しているけど、情報共有がうまくいっていない

「PrivacySafer」は膨大な文書を効率的に作成するための「サンプルチャートCD」と環境を維持管理するための「ファイリングシステム」から成り立っています

文書の作成と活用

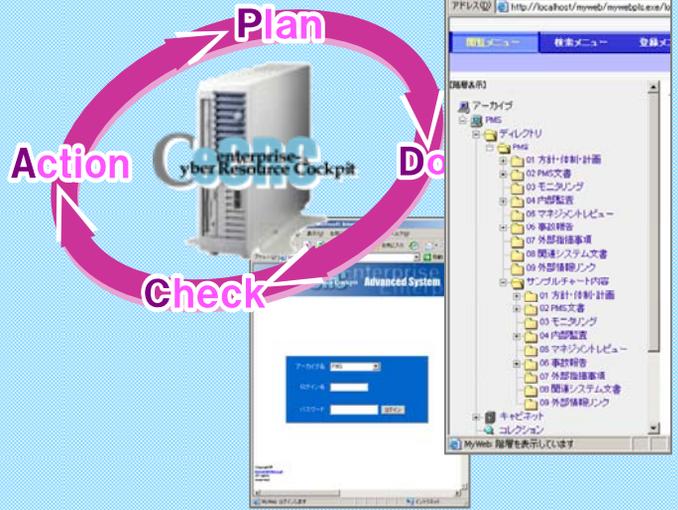
Pマーク取得ステップ

1. 方針・目標の決定
2. 保持している個人情報の特定
3. 個人情報に関するリスク分析
4. リスク対策の立案
5. 残存リスクの認識
6. 必要資源の確保
7. 要求文書の作成
8. 従業員教育の実施
9. 運用の開始
10. 内部監査の実施
11. マネジメントレビューの実施
12. Pマーク申請処理



イメージとしては、例題の答え(サンプル)を元に自社の答えを作成していく形なので、文書作成の最効率化を図れます。構築のステップ表をベースに作業を行うことが出来ますので、自力での構築も迷うことなく可能です。又、サンプルは全てWord・Excelといった使い慣れたファイル形式でご用意しているため、企業様向けに改修していただく作業も違和感なく行っていただけます。

維持・管理



作成した文書を適切に管理していくためのファイリングシステム(e-CRC)を効率活用する事で、Pマーク認証規格に理想的な版管理や新規登録情報の通知が行えます、更に、例えば有事の際、関係各位に迅速な情報共有が計れるので被害を最小限に抑えることが可能です。PDCAマネジメントサイクルの構築も容易に行えます。

**早急にPマークを取得したいという企業様向けに
コンサルティングメニューもご用意しております**

導入効果

必要文書をサンプルをベースに作成する事で工数削減可能

電子形式で文書を管理することで、審査対応のレスポンス向上



コンサルティングを実施することで企業様の不安を解消

ツールを使用することによりPマーク取得後の自立が可能

商品のご寿命は下記まで

京セラ ミタジャパン 株式会社

お客様
相談窓口



0570-046562

受付時間
● 9:00-17:00
(但し、土曜日、日曜日及び休日除く)

※ナビダイヤルをご利用にならないIP電話・PBXなどからおかけの場合は、(06-6764-3678)をご利用下さい。